

脳卒中やフットケア学ぼう

川崎医大川崎病院（岡山市北区中山下）は今月、岡山市内で、一般市民向けの公開講座などを開く。

14日午後2時半からは、岡山県総合福祉会館（北区石関町）1階大ホールで市民公開講座「脳卒中になったとき～そのときあなたははどうする？」（山陽新聞社など後援）。同病院の井上剛脳卒中科副部長が「治る!?

脳卒中の最前線で今、起こっていること」、小野成紀脳神経外科部長が「脳外科の最先端脳卒中治療」、小山淳司リハビリテーションセンター副主任が「脳卒中のリハビリテーション」の題で、それぞれ分かりやすく話す。

無料。先着330人で、申し込みは10日まで

川崎病院
岡山
今月、公開講座や催し

に同病院庶務課庶務係（☎086—225—2171、FAX086—232—8343）。



9日にはルネスホール（北区内山下）で「フットケア2015 in 川崎病院」。午前10時～午後4時。

糖尿病などで足を切断せざるを得ない人が増える中、足病変の予防、早期発見・治療に関心を高めてもらおうと、日本フットケア学会などが設けた「フットケアの日」（10日）にちなむ行事。下肢血流検査や足の悩み相談、医療講演などがある。

参加無料で事前申し込み不要。問い合わせは同病院（☎086—225—2111、内線7700、額田さん）。